

チクロピジン塩酸塩錠100mg「NP」 無包装状態での安定性試験について

ニプロ株式会社

I. 試料

試験製剤:チクロピジン塩酸塩錠100mg「NP」(1錠中に日本薬局方 チクロピジン塩酸塩100mg を含有)

II. 試験

保 存 形 態

①温度:遮光・気密容器

②湿度:遮光・開放

③光 :透明気密容器

保 存 条 件

①温度:40℃±2℃ 3ヶ月

②湿度:25℃±2℃/75%RH±5%RH 3ヶ月

③光 :120万lux・hr

III. 試験結果および考察

『錠剤・カプセル剤の無包装状態での安定性情報 改訂5版』における評価法および評価基準に従い評価した結果は以下の通りである。

チクロピジン塩酸塩錠100mg「NP」について温度(40℃3ヶ月)、湿度(25℃75%RH3ヶ月)、光(120万lux・hr)に対する安定性試験を実施した結果、湿度(25℃75%RH)により1ヶ月の時、約30%の硬度低下が見られた。その他の条件においては各項目に変化は認められなかった。

製品名	保存条件		外観	含量	硬度	溶出性	評価
チクロピジン塩酸塩錠100mg「NP」	<開始時>		白色～淡黄白色のフィルムコーティング錠	適合	適合	適合	
	温度	40℃±2℃ 3ヶ月	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	◎
	湿度	25℃±2℃/75%RH±5% 3ヶ月	変化なし	変化なし	【1ヶ月後】 111.4N→77.2N 【3ヶ月後】 111.4N→90.6N	変化なし	○
	光	120万lux・hr	変化なし	変化なし	変化なし	変化なし	◎

(外観n=5、含量n=3、硬度n=5、溶出n=6or12の測定結果)

◎ ; 全ての試験項目で変化を認めない

○ ; いずれかの試験項目で、「規格内」の変化を認める

△ ; いずれかの試験項目で、「規格外」の変化を認める